

# 広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

## 招 集

令和5年7月18日（火）午後1時 議会委員会室

## 出席委員（7名）

（委員長）塚 田 佳 充 （副委員長）松 田 真 哉  
伊 藤 ひろえ 奥 岩 浩 基 門 脇 一 男 津 田 幸 一  
森 田 悟 史

## 欠席委員（1名）

錦 織 陽 子

## 議長

稲田議長

## 出席した事務局職員

松田局長 田村事務局次長 松下調整官

## 傍聴者

大下議員  
報道関係者0人 一般0人

## 協議事件

- 1 市議会だよりについて
- 2 議会報告会について
- 3 その他

~~~~~

## 午後1時00分 開会

○塚田委員長 ただいまより広報広聴委員会を開会いたします。

錦織委員から欠席の届出がありましたので、御報告いたします。

初めに、資料1、資料2として前任期の広報広聴委員会での議会だより及び議会報告会に関する検討経過の報告書をお配りしておりますが、この報告書は、本年5月に皆様方にお配りされているものです。内容は確認していただいていると思います。

今後の進め方として、私としてはこの報告書をベースに協議していきたいと思いますが、皆様方から御意見があればお願いいたします。

奥岩委員。

○奥岩委員 今、資料1、資料2って言われたんですけど、協議事件1番が市議会だよりについての資料1で、協議事件2が議会報告会についての資料2、資料3ってなってるんですけど、どちらで考えたらよろしいでしょうか。

○塚田委員長 田村次長。

○田村事務局次長 すみません、協議に入っていただく前段で、資料1、資料2について先ほど委員長のほうから御説明いただいたように、前任期の広報広聴委員会での検討経過をベースに今後進めていくかどうかをまず確認をしていただいてからというようなことで、今言われたように、レジュメのほうの資料1、資料2、資料3と、ちょっと分かりにくい

部分があるかもしれませんが、まず、協議に入っていただく前段に前任期でのものを引き継がれるかどうかということを確認していただくつもりで準備させていただいております。

○塚田委員長 奥岩委員。

○奥岩委員 はい、分かりました。

じゃあ、資料1、資料2が前任期の方々からの、我々も確認はしてるんですけど、ある意味申し送りの的な感じで残ってる資料かと思しますので、これをベースにということですよ。

○塚田委員長 はい。

○奥岩委員 はい、了承しました。

○塚田委員長 ほかに意見がありますか。

〔「なし」と声あり〕

○塚田委員長 ないようですので、次に、前任期では議会だより、議会報告会、それぞれ作業部会を設け協議をしておられましたが、今期はどのようにいたしましょうか。御意見がありましたら。

伊藤委員。

○伊藤委員 前期もやっぱり作業部会で詰めて話ができましたので、それで前進していったのかなというふうに思いますので、議論をするっていうのはすごい時間がかかったりとかしますので、作業部会で行ったほうが効率がいいかなと思います。

○塚田委員長 ほかにございませんか。

奥岩委員。

○奥岩委員 委員長のもし素案があれば先に聞いておきたいなとは思いますが、何か作業部会、議会だよりは何名ぐらいで、報告会は何名ぐらいで、今、伊藤委員がおっしゃいましたが、前任期の広報広聴委員会さんがやられて、これはもうちょっと多いほうがいいんじゃないか、少ないほうがいいんじゃないかっていうのもあるかと思ます。その辺ありますでしょうか。

○塚田委員長 私の考えとしては、作業部会を設けたほうがいいんじゃないかなとも思います。あとは、この委員会が私含めて8人なので、私が両方一応見たほうがいいかなというところがありますので、3、4になるんですよ、私を外すと。あとは錦織委員がいますのでね。

○塚田委員長 門脇委員。

○門脇委員 ちょっと申し訳ないです、話の途中だったんですけど。前期も私、出させてもらったんですけど、今、委員長が言われましたように、委員長は委員長の立場で両方。私も副議長という立場で出ておりますので、両方に出たいと思いますので。ですから、委員長と私を除いて、あと3、3で決めていただけたらどうでしょうか。

〔「ありがとうございます」と伊藤委員〕

○塚田委員長 分かりました。

皆さん、どうでしょうか。

奥岩委員、どうぞ。

○**奥岩委員** 今、御提案ありました。そういったしますと、市議会だよりのほうが3名、議会報告が3名っていう案だと思いますけど、2名とかでも回るのかなとは思いますが、いかがでしょうか。

○**塚田委員長** どうでしょう。皆さん、ほかに意見は。

松田委員。

○**松田委員** 議会報告会が今回メインになってくると思うので、ある程度、議会報告会のほう2っていうわけにはいかないと思うので、3、3か2、4ぐらいだったら、報告会を4でね。それぐらいのバランスか、まあ同じかがやっぱり人数は。報告会にある程度パワーが要るかなと思います。

○**塚田委員長** 奥岩委員。

○**奥岩委員** 今、松田委員から報告会の話があったんですけど、そうすると、要項に沿って報告会をやるとなると、委員会ごとの報告がありますので、その資料をまとめたりですとか発表内容をつくったりっていうのは、ちょっと2人とか3人では厳しいかなと思いますし、それぞれの委員会から出ていただいているので、単純に半分に分けて、市議会だより3、議会報告会3ではなくて、議会だよりは議会だより、報告会は報告会に向けて皆さんでもちろんやるんですけど、プラスそれぞれ常任委員会から出ておられますので、繰り返しくなりませんが、そこの方がメインで資料を作っていたりとか、そのほうが運営といいますか、報告会の準備としてはいいかなと思うので、いかがでしょうか。

○**塚田委員長** 人数を決めるのではなく、3、3とかではなく。

今回の報告会、常任委員会の報告会っていう形になると思うんですよ。去年ができてないので今年は必ずやりたい、やっていこうっていう方向なので。

伊藤委員。

○**伊藤委員** 作業部会は、できれば私は、副議長と委員長がどちらも出られるんだったら3、3がいいかなと思います。一定程度議論ができれば、あとは別に作業部会ではなくて委員会としてやっていくので、議会報告の日程だとか、進行スケジュールなどを3、3で決めれば、それはそれで委員会としてやっていくっていうような形になるんじゃないかなと思ったりもします。

あと、委員会の資料を作るというようなことは、やっぱり全体で役割分担をしたほうがいいんじゃないかなと思いますので、作業の部分でっていうのはどういうふうに改善していくとか、例えば案をつくるっていうようなところがその役割なのかなというふうに思ったりもしますので、そういう形がいいんじゃないかな。何かちょっと伝わったかどうか分からないんですけど。

○**塚田委員長** 松田委員。

○**松田委員** 伊藤委員の言われるように3、3で、お話しうと私はいいかなと思いました。

○**塚田委員長** 奥岩委員。

○**奥岩委員** 今、伊藤委員おっしゃっていただいたので、そうすると、議会だよりの分は3名おられて、報告会は何か、結局委員会みんなで動くんだったら、それでいいのかなと思ったりするんですけども。

○**塚田委員長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** スケジュールを決めるまでの議論っていうところかなというふうに私は思ったんですけどもね。作業部会は作業部会でそこが責任を持ってやっていくんですけど、でも、やっぱり委員会の分っていったら委員会単位でやる、委員長等含めて考えながらやるっていうようなことかな。だから、作業部会がずっと分かれたまんまで最後までやるっていうことは何だか考えにくいなと思ったりもします。だから、議会だよりについても、議論をするので、やっぱり3人以上は必要だっていうようなところで、私は3、3がいかなと思って、今後5、5になるんですけど。議論をするっていうところで一定程度の人数が必要かなというふうに思いました。

前回も、結局は米子市議会だよりの案とかは作業部会ではつくったんですけども、やっぱりみんなで一緒に、委員会を開いたときに決めるというふうになりますので、作業部会を開いて、また委員会をっていうような形になるんじゃないかな、伝わってるのかどうか分かんないですけど。

**○塚田委員長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 最初に戻りますけど、委員長の案としてどういう、市議会だよりに対して、作業部会でこういったことをしてほしいとか、議会報告会に対して作業部会でこういったことをしてほしいっていうのがあれば、それぞれこういう役割ですよっていうのをあつたらまず聞きたいというのが1点と、そうすると、さっき伊藤委員にも繰り返しですけど言っていたんですが、報告会については、作業部会で何をするのかちょっと私イメージがつかないので、スケジュールのことに 대해서는委員長と事務局マターである程度素案は出てきて、委員会で話してできると思いますし、報告の内容の資料については、先ほど申し上げましたとおり各常任委員会から出てますので、そこを中心に、伊藤委員もおっしゃってくださったような作業委員会みたいなものがあつたりとか、全体の委員会で協議をして、資料を修正したりとかという作業が出てくるとは思うんですけど、これを部会にして何をされるのかなっていうのがイメージがつきづらくて。どういった考えでおられますでしょうか。

**○塚田委員長** 私もこの2つに分けるっていう案に賛成したのは、例えば議会だよりのほうでしたら、今までの議会だより、よりこう変えていきたい、こうしたいっていうところの道筋をこの委員会の中で話しするとかなり長くなるんじゃないかなっていうところがあつて、もっと修正をコンパクトにして進めていって、道筋ができたならみんなと話し合ったほうがいいんじゃないかなっていうのがあつたので、細かい作業の部分を少人数で話しして道筋をつくって、委員会で話し合いをするっていうところの部分で作業部っていうのをつくったほうがいいんじゃないかなというのを私はちょっと思ったんですけども。

あと、報告会のほうも、この8人で一斉に話をするより、少人数で話をして、ある程度まとめた意見を委員会で話しして、要は道筋をつくった上で委員会で話をしたほうが話が早いんじゃないかなっていうところがあつたので、私はちょっと賛成させてもらったんですけども。

津田委員。

**○津田委員** 私、この資料1は、見ていて、もう、何か結構話が済んでるなって思ってるんですけど、これをまたもむわけですかね。もんで、次の議会だよりっていうのに、次の

議会だよりのベースっていうのは資料1がベースになってるっていう、私は思ってるんですけど、これをまた何かいろんなふうに修正していくんだったらたくさん的人数っていうのが要るかなと思ってるんですけど、もうほぼこれ決まってるんじゃないかなっていうふうに思ってるんですけど、どんな感じでしょうかね。

**○塚田委員長** 松下調整官。

**○松下調整官** ちょっと私から説明をさせていただきたいと思えますけれども、今、御協議いただいておりますのが、まず、作業部会をつくるかつくらないかっていうところで、前任期は作業部会をつくって非常に効率的に進められたということがありまして、委員長から今、協議の議題として出していただいて、委員長への事前説明に対しても、委員長はこの方法がいいじゃないかなということで、今、御提案をさせていただきます。

それで、実際に作業部会がどういうふうな協議をするかというのは、実は、ちょっとこの後、それぞれの担当のほうからこういったことをお願いしたいということで、具体的な作業内容については、この後ちょっと説明をさせていただこうかなと思っております、まずは作業部会方式にするかどうかということを決めて、これが皆さんの承認が取れば、この後、具体的な作業部会での作業の内容、そして一番最後に、じゃあ、どういうふうに分かれましようかと、議会だよりの作業部会の作業内容、報告会の作業部会の作業内容、それぞれをお聞きになった上で、じゃあ、自分はこっちがいい、こっちがいいというようなところで、最終的にその人数も含めて最終協議をしていただけるかなというふうに考えております。

**○塚田委員長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 今の事務局のお話だと逆じゃないですかね。最初に部会をつくってどうこうって言われても、中身が分からない状態でそれでここで諮るよりは、この部会はこれをしたい、やりたい、この部会はこれをしたい、やりたいっていう中身がないとちょっと判断ができないので、できれば中身を御説明いただいて、皆さん共通のイメージを持ってから入ったほうがいいと思えますけど、いかがでしょうか。

(「いいです」と声あり)

**○塚田委員長** 分かりました。その意見はじゃあ、ちょっといただいて。

先に、それぞれの説明を先にしてもらいましょうか。

じゃあ、松下調整官からお願いします。

**○松下調整官** それでは、私からは議会だよりについて御説明をさせていただきます。説明に使います資料は、先ほどの資料1、広報広聴委員会報告、議会だよりに関する検討経過、それと、本日お配りしております実際の議会だよりの72号と73号、この3点を使って説明をいたしますので、よろしくお願いたします。

まず、議会だよりの発行月についてですけれども、通常ですと、3月、6月、9月、12月に発行しておりますけれども、本年6月定例会は統一地方選挙の関係で6月16日開会ということで、各個質問も20日から始まったということで、非常に、例年よりもスタートが遅かったということで、9月1日の発行というのはちょっと日程的に間に合わないということで、10月1日発行ということで今後のスケジュール感についての御説明をしたいと思いますので、よろしくお願いたします。

まず、資料1を御覧いただけますでしょうか。この資料1は、先ほど委員長からの説明もございましたけれども、前任期の委員会の検討状況でございます。それで、どういう組立てになってますかっていうと、項目、内容、改善案、備考、対応状況ということになっています。それで、一番右側に対応状況というふうに載せてます。対応済みというのと継続協議っていうのがございます。対応済みというのは、前任期で既に変更をかけたところなんです。継続協議については、今後、またこの広報広聴委員会なりでどういった改善をしていくのかっていうことを継続的に協議をしていただくという申し送りでこういった状況にしています。

それで10月1日発行の議会だよりについてですけれども、前任期から大きく変更したところが4点ございます。そこには対応済みと書いておりますけれども、これは、今度10月1日付に向けて、この前回変更、改正したところを引き継いで、今度はそれを踏まえてどういう内容にするかっていうのが、もしも作業部会するということになれば、作業部会で協議をして最終的に広報広聴委員会で決定していただくということになりますので、この対応済みというのは、今後変更していきましようということが確認が取れたという意味での対応済みという意味です。ですから、新たな議会だよりについては、中身をどういう内容にするかっていうのは一からまた御協議をいただくという予定です。

今、話ししました4点、大きく4点変更になったところを1点ずつ説明をさせていただきます。まず、この資料1の表紙、写真の改善案のところ、これまでは、表紙については市民の皆様から募集をして、その中で広報広聴委員会で選んで表紙にしていたというのが、例えばこの72号、黄緑の表紙です。これは市民の方から応募があって、何点か応募があったうちの一つで、広報広聴委員会でこれがいいじゃないかっていうことで最終的に表紙になった。73号を見ていただけますでしょうか。73号の写真、これは資料1にも書いてますけれども、これまで応募作品、特に最近、応募作品が非常に減少傾向にある。本当になかなか集まらなくて、過去の提出していただいたものの中からまた選定するというような作業もありまして、前任期のときに、当分の間は広報広聴委員がこの候補になる写真を提出するということでしたので、ここが前回から大きな違いです。ですから、今回についても前回の対応を踏襲するということであれば、広報広聴委員さんから提出していただいて、その中で作業部会である程度選定して、最終的には広報広聴委員会で決定するというような流れになります。

2点目の大きな変更が、次の目次のところなんです。目次の標記を変更して新たにトピックスとして3項目を記載するというふうになってます。この72号と73号の下のところを見ていただけますでしょうか。72号、黄緑のほうは、1ページずつどういった項目なのかっていういわゆる目次になっています。73号のほうは文字を大きくして、全部ではなくてトピックス、トピックスとして3項目を記載しましょうということで、どういった項目にするかというのもこれは作業部会で決定をしていただいています。

次に、3点目ですけれども、次のあらまし、内容の変更、ダイジェストを追加して内容を写真、イラスト、グラフ等を使用し、ビジュアルで表現するっていうことなんですけれども、これは、議会だよりのそれぞれ72、73号、はぐっていただいて2ページ目をちょっと比べていただけたらと思います。2ページ目ですけれども、従前は、令和4年12月定例

会のあらましということで、事務局のほうでこれを、案をつくってしてございましたけれども、この開いたところを、やはりぱっと目に触れるような内容がいいじゃないかということで、前任期で御協議していただいて、ダイジェストってということで、3項目ぐらいを、ちょっと絵も使いながら、ぱっと見て、取って見ていただきやすいようにしたいというようなことがございまして、ここを大幅に変更しています。ですから、今回もということになれば、ここの内容ですとか、レイアウトですとか、そういったことも作業部会を中心に御協力をいただくということになります。

最後の4点目ですけれども、裏表紙、73号の裏表紙を見ていただけますでしょうか。73号の裏表紙、これはカラー印刷になってますので、表表紙と裏表紙だけが実はカラー印刷になってます。これは、現状では予算として毎回2ページ、合計2ページをカラー印刷すると。中身、あとは白黒印刷で、白黒の濃淡をつけて少し見やすい工夫をしながらやっているということで、この裏表紙せっかくカラー刷りなので、ここをしっかりと協議して目を引くようなものにしたらどうだということをしていただいて、前回からこういったことになっております。この4点が大きく変更したところです。

作業部会のことはこの後ということになるんですけれども、作業部会でないにしても、前回のことを踏襲するということで確認をしていただいておりますので、各委員さん、全8人の委員さんからこの表紙の写真の候補を事務局のほうに出していただきたいなというふうに思っています。出していただく際には、特に人物については肖像権の関係がありますので、最終的に採用になるか、選定されるかどうかは分からないんですけれども、もしも人物の写真が事務局のほうに提出していただく際には、必ずその肖像権の関係で許諾を取っていただきたいと思います。ただ、最終的に何点か出てきて、本当に表紙にならないというケースもありますので、その辺りはちょっとうまく伝えていただきながら許諾を取っていただきたいなというふうに思っています。写真を提出していただくっていうことになれば、次の作業の日程がありますので、できれば7月28日の金曜日までに事務局に提出していただきたいというふうに思っております。

私からの説明は以上です。

**○塚田委員長** ありがとうございます。

それでは、報告会のほうの、じゃあ、説明も先にしていただきたいなと思いますけども。これは議長から。

本日は稲田議長に出席いただいております。資料3、議会報告会・意見交換会開催要項(案)について、議長から説明があります。お願いします。

稲田議長。

**○稲田議長** 資料3に入る前に、資料2を御覧ください。資料2の1ページ目、一番下の大きい3のところと共有している方向性、それから、3ページ目、大きい5番、米子市議会の新たな議会報告会・意見交換会に向けてのところと、前の期から引き継ぎます、冒頭、塚田委員長も確認取られたということで、こういうのが前提としてありまして、加えて約3年間コロナの影響で開催できておりませんで、実際その、どう言えばいいですかね、ライブ形式で、実際に人間と人間が相対してやるというのはなかなか経験されていない議員さんもいらっしゃる中で、ただ、我々の任期昨年7月から頂戴して、1年間開催しており

ませんで、それはルール上問題はなかったんですけど、これからの1年間には必ずやらなきゃならないということで、私のほうでそういった条件を踏まえながら、副議長とも相談させてもらいながら資料3を作らせていただきました。もちろん案でございますので、この広報広聴委員の現在のメンバーの方の意見も頂戴しながら、ただ、しかるべき早い時期には案をそれから成案にさせていただいて、今年度中ないしは向こう1年間の中で議会報告会を開催いただきたいという旨でございます。

では、資料3を御覧ください。主立ったところのみ説明させていただきますと、大きい2番、実施方法等については記載のとおりでございますが、現時点では来年の4月または5月を想定しております。準備に日数もかかりますし、議会のある月には行いません。加えて、1、2月はやはり雪の心配がありますもので秋か来春かを悩みましたが、現在は来春を想定しております。開催場所100名程度についてはまた後ほど説明いたします。3の対象は意見交換会のテーマに沿った市内関係団体ということで、これも前回からの申し送りにありますとおり、テーマを絞った内容にしたほうがいだろうということでこのように記載させていただいております。大きい3を御覧ください。(1)の開会、挨拶、議会報告、班分けがあるということで、その次の大きい4、テーマ設定と班分け等が関係していますので同時に説明しますと、要はテーマを決めるんですけども、それは常任委員会、3つある常任委員会にそれぞれ沿ったテーマを提示して、それで関係団体の方との意見交換の場を持ったほうがよいのではないかとございまして。あくまでも例で3つ書かせてもらってますが、このようなテーマを添えて、それに関係する団体。ですから、総務政策であれば、日頃地域のために貢献いただいている、例えば自治連の皆様であったりとか、それから、民生教育であれば小中学校の施設ですので、PTAの保護者の方と意見交換してはどうか。それから、都市経済におきましては、ウォーカーブルと書いておりますが、ウォーカーブル自体は総務政策委員会のマターではあるんですけど、そこが主眼ではなくて、例えば米子駅がいなロード、7月29日に開通いたしますので、駅前あるいは駅南側、あるいは旧市街地、あるいはそれに隣接する地域の経済活性化も踏まえたような、そのような、要は商売されてる方とか、そこにお住まいの方とかと今後のこの町の在り方を、ウォーカーブルもやっていますので、中心に意見交換してはどうかというような意図で載せておりますが、これに完全に縛られるものではなく、何か案ぐらい書いておかないと失礼かなと思っ書かせていただきました。

5の班編成に移ります。各常任委員会をそれぞれ8ないし9名いらっしゃいますけれども、4名前後に2つ、要はAとBに分けて、そうすると合計6つぐらいの班がいいのではないかと、これも想定でございますので、一つの車座になった円の人数が10人がよくて20人が駄目で、いや、何人がいいとかっていうの、ちょっと私のほうでもそこまで決め切れなかったものですから、ちょっとその辺りは皆様の御意見をいただきながらと思っております。めくっていただきまして、あとは、鳥取市さんのほうを参考に作っておりますので、御一読いただければある程度のイメージはつくのではないかとと思っております。この内容につきましては、私または副議長に問い合わせいただければ答えますし、もし2人が不在のときは事務局ともすり合わせておりますので、事務局のほうで回答があれば答えるようにいたしますので、よろしく願いいたします。

私からは以上でございます。

**○塚田委員長** ありがとうございます。

この件につきましては、会派持ち帰りとして、御意見あれば7月28日金曜日までに事務局までお願いいたします。

今、議会だよりと報告会の内容をお聞きしたところで、先ほど話をしていたところまで戻りますが、どうでしょう、お聞きした上で。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 今聞かせていただくと、議会だよりについては、ほぼほぼ資料1の分は対応済みでして、継続協議ってなってるのは4件ですので、なので、特に、可能であれば委員会の皆さん全員で話したほうがいいのかないかなと思いましたが、別にこれを部会にしなくても、全体で皆さんと協議したほうがいいのかないかなと思います。特に分けて議論の時間がとか、内容が深まるとか浅いとか、そういったところのメリットはあんまり具体には感じないなど個人的には思いましたので、なしでもいいかなと僕は思います。

もう1点、議会報告会のほうなんですけど、こちら先ほど議長のほうから御報告いただきまして、開催の素案が出てきているので、これも、特に部会で何か新たに協議する必要はあるっていうふうには感じませんでした。この素案を基に委員会で協議するためにちょうど会派から皆さん出ていただいていますので、持ち帰りながら委員会全体で協議されたほうがいいのかないかなと思いますので、特に、私としては、議会だよりにしても報告会にしても、部会で協議をして委員会に持ち寄ってっていうようなメリットはあんまり感じられなかったもので、そのまま委員会で御協議いただくとありがたいかなと思います。

**○塚田委員長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** 説明いただいたので、私もちょっと具体的にイメージできたところなんですけれども、一つ、議会だより、部会を開くメリットっていうふうに言いますと、昨年も私、委員でしたので経験してるんですけども、どちらもスケジュールがタイトなものですから、写真を今、7月28日って言われました。この議会だよりの印刷にかかる時期っていうのが本当に詰めてあるので、そこで決めなきゃいけないものがたくさんある中で、またこの継続協議というものは、途中で案も出ささせていただいたんですけども、なかなか進んでいません。市民の方から文字が小さくて読みづらいついていうようなところを改善したいという、何年もかけての、そこがまだ具体的に改善はできておりませんので、そこもやりながら年に4回の議会だよりを一つ一つ、写真の選定からトピックス、ダイジェストというふうになると、とても委員会、1か月に1回、2回、開いたとしたって難しいのではないかな、タイムスケジュール的には、と議会だよりのほうは思って、やっぱり作業部会があったほうがいいのかないかなと思いました。

もう一つの報告会のほうは、議長、副議長が本当に詳細に案をつくっていただいておりますので、そんなには協議をすることがないのかなとは思ったりもしますが、初めてのことで、役割分担として広報広聴委員はというようなところがありますけれども、やっぱりこれも作業部会でやりながら委員会で確認するというようなことのほうがいいのかないかなと思うんです。それはなぜかというと、議会報告会の直前になれば、とにかく何度も何度も集まって動くっていうような必要性が出てくるのではないかなというふう

に思いました。そのときと、あと、これからいつの時期に、大体は来年の4月から5月というふうにありますけれども、いろいろな案をつくったりとか、そのパワーポイントのものをつくったりとか、そういうようなことを考えれば、やっぱり月に1回、もしくは2回開けたとしたって委員会ではちょっと難しいのではないかなと私は感じました。以上です。

**○塚田委員長** ほかに御意見は。

森田委員。

**○森田委員** ちょっと事務局に確認したいんですけど、多分、前期のときに市議会だよりの作業部会って割と手を動かしてやるが多かったイメージがあって、表紙作ったり裏表紙作ったりっていうのがあると思うんですけど、今年もそういうやり方でやるとしたら、市議会だよりに関してはある程度作業部会じゃないと、タスクが浮いちゃう可能性がすごいあると思うんですけど、その辺りってどのようなお考えか聞かせてください。

**○塚田委員長** 松下調整官。

**○松下調整官** 先ほど森田委員さんからお話がありました。実は、私も担当として作業部会を設けていただければなというふうに思っております。理由は、先ほど森田委員さんも言われましたけれども、ペーパー上、これ、言葉にするとたったこれだけの文字になりますけれども、実際はこの中身が非常に様々な議論、それで、誰がこのベースを作るかとか、細かい話なんですけれども、それを作業部会で、四、五人で小さいテーブルでああだこうだということで、この部分は誰々にちょっとベース作ってもらおうとか、何ていうんですか、ダイレクトに話ができ、非常にタスクがスムーズにいくか、私も体験してそう思っています。実際に広報広聴委員会を開いて、そういった、じゃあ細かいこのベースを誰が作るのかとか、どういう項目がいいかとかいうのをその都度皆さんに御協議いただくよりは、作業部会でもダイレクトに話をして、ある程度ベースを作るというふうなほうが、さっき伊藤委員も言われましたけれども、この作業スケジュールがタイトの中で非常に効率がよくできるのかなというふうに思っております。

**○森田委員** 分かりました。

**○塚田委員長** ほかに。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 今、事務局からお話があったんですけど、すみません、議会だよりのところではあまりイメージが私がつかなくて、多分ふだんのやり取りであれば別に委員会がなくても委員長と事務局でやり取りはされてると思いますし、議会だよりの中身についても各議員さんがデータを事務局に提出されてるという形になってるので、どこに時間がかかるのかっていうのがちょっとあまりイメージがつきづらかったんですけど。

**○塚田委員長** 松下調整官。

**○松下調整官** この73号で説明いたします。まず、この表紙のレイアウトも委員さんで決めていただいています。この辺に写真を設けて、これをカーブで取って、タイトルを入れて、トピックスを入れるというようなことも作業部会のほうで決めていただいています。はぐっていただいて2ページ目、2ページ目のこのダイジェストですけれども、これも今3項目上げてますけれども、この3項目についてもどういう項目を上げましょうかということを作業部会で検討していただいて、レイアウトをどうしようか、挿絵をどうしようかと

というようなところまで作業部会で決めていただいています。ですから委員さんの中で協議をしていただいて、案を出していただいて、事務局としてはそれを印刷会社に発注するというような感じになりますので、全て委員さんの中で決めていただくということが前提になりますので、何回も集まっていたら作業部会で決めていただいているということです。裏表紙についても同様のことで、非常に多種多様な作業が出てくるということが前回やってみて感じてるところです。以上です。

**○塚田委員長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 分かりました。そうすると、多分ある程度部会で協議をされてこういうふうにならるとはいえ、事務局案なり委員長案なりっていうのが最初には出てくると思いますが、時間が足りないっていうようなお話もあったんですが、それがすぐすぐに議会だよりを発行するわけではなくて、次の議会の開会の月を目がけて何月何月何月っていうふうに進んでいくかと思っておりますので、であればどうなるのかなとは思いますが、いかがでしょうか。

**○塚田委員長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** 委員長案だとか事務局案っていうのは、こういう表紙だとか改善したところにはないんですね。だから広報広聴委員会で決めていく。

**○塚田委員長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 今、伊藤委員から伺ったんで分かったんですけど、そうするとスタートがゼロベースだと本当に毎回毎回時間かかるので、ある程度素案はやっぱり事務局なり委員長なりでつくっていただきながら、委員会協議にしろ部会の協議にしろ、そういったところがないと本当に時間がかかる作業になってしまうので、そのところはベース案を用意していただいて、部会するなり委員会するなり、ちょっとどっちになるか分かりませんが、そういったところに臨んでいただいたほうが今後の、今変わったばかりですので最初は時間かかるかと思うんですけど、次の10月発行の74号からはそのほうがいいのかと思いましたが、委員長、いかがでしょうか。

**○塚田委員長** そうですね、1つは、この73号、前回の1年かけて作り上げたものでいいのかどうかっていうところの皆さんの意見も必要かなと思ったりはしたんですけど、このままで皆さんがいいよ、このままで、去年と同じやり方でやっていこうっていうんでしたら、これをベースにやっていけば一番早いかなと思うんです。ただ、皆さんの意見で、いや、これよりもちょっとこっちのほうがいいんじゃないかなっていうのがあれば、そういったのも盛って話したほうがいいんじゃないかなと思ったので、委員会を2つに分けたほうがいいんじゃないかっていう私の考えではありました。部会をつかって。先ほど奥岩委員が言われたとおり、例えば報告会のほうはもう議長、副議長がある程度要項をつくってくださったので、それをベースに進んでいけばいいんじゃないかなと私もふと思ったりはしましたけど。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 議会だよりのほうですと素案はある程度あったほうがいいっていうような、委員長も言っていただいてありがとうございます。それであると皆さんイメージがしやすいかなっていうのもありますし、73号もできましたので、今回変わったばかりですの

で、まずはこれをベースに我々の任期は発行していったって、やりながら市民の皆様の反応を聞きながら、資料1で継続協議のところもありますし、今後の課題も出てくると思いますので、そのタイミングで、じゃあもう少し、こういった課題があって、ここを改善したほうがいいんじゃないかっていうのは多分、これ以外にも出てくると思いますので、そのタイミングで部会を開いたりとかでもいいのかなとは思いますが、いかがでしょうか。

**○塚田委員長** 部会をそのときにつくる。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 基本的には委員会で全部していただけるとありがたいなと思いますけど、もし細々したところを部会でどうしてもやりたいっていうようなことがあればそれでもいいかなとは思いますが、せっかく新しいのができたので、これをベースに、繰り返しになりますけど、市民の皆様の反応を見て、皆さんがそれぞれの立場で聞かれた感想を聞きながら、もうちょっとここを改善点があるんでとかというふうに進めれるんじゃないかなと思いますので。全部が全部一気に変わってもいいかなと思いますけど、それが難しいというところで少しずつ進めておられると思いますので。

**○塚田委員長** せっかく去年の皆様が練りに練って意見を出し合って作られた議会だよりのですから、去年のこの73号をベースに、あとは協議する部分を継続で皆さんで話し合っていてやっていくっていう方法もありなのはあるかなとは思いますが、その都度会を開く回数が増えるかもしれませんが、それでも大丈夫なんだろうかっていうところなんですけど。皆さんの意見はどうかな。

**○塚田委員長** 門脇委員。

**○門脇委員** 初めての方もいらっしゃいますので、ちょっと事務局に。

例えば7月28日までに写真を出してくださいとかいろいろありましたけど、ぱっと考えると、そこでじゃあ、9月に間に合うんじゃないみたいなことも考えられますので、一応のスケジュール感みたいな何か、これぐらいまでに何が必要で、これでやっとなら10月1日発行になるというようなところがもし今、分かれば、大まかなことでもいいです。

**○塚田委員長** 松下調整官。

**○松下調整官** 議会だよりのスケジュール感なんですけども、この中身の中で各議員さんの各個質問の質問と答弁については、これはこれから議事録といいますか、会議録を今依頼して、それが返ってくるのが各個質問の1か月後になります。ですから、一番最初に返ってくるのが7月の21日が初日の分が返ってきます。順次、2日目、3日目、4日目という格好で返ってきます。返ってきたら各議員さんにまた案をつくっていただいて、事務局のほうで確認をして最終的に決定すると。それ以外のところ、先ほど説明した4か所については、これ事務局のほうで勝手に決められませんので、この議会だよりのというのは、基本的に各議員さんが内容をこういう形にして市民に手に取ってもらいやすくするというようなコンセプトで進めてきておりますので、その内容を少し決めていただくのに時間がかかります。具体的な日にちを申し上げますと、今考えておりますのは、8月の21日、これ印刷会社に原稿を入稿しようと思っております。8月の21日。印刷会社に出す、もう既に中身が全部決まっているということになります。議員さんの先ほどの質問と答弁ですとか、表紙とかトピックスとかダイジェストとか写真とか、そういったものも全て決まって

いるというような状況になりますので、それまでに細かいところを詰めて、最終的には広報広聴委員会で確認をしてってということになりますので、例えば前日の8月17日に広報広聴委員会を開いてもらって、そこで確認が取れば21日に印刷会社に出せるのかなというふうに思ってますけど。ですから、スケジュール感でいくと、8月21日に原稿を提出したいなというふうに今思ってます。以上です。

**○塚田委員長** 門脇委員。

**○門脇委員** なので、もっと早くいろいろできるかなというのは思ってたんですけど、8月21日に印刷会社に原稿を出さないと10月1日号に間に合わないということになりますと、非常にタイトなスケジュールになってくると思いますので、委員会の中でそれぞれずっとこの議会だよりに関してだけでも決めていくってなると、結構な回数を開かないとなかなか決まらないのかなって思ったりもしますので、やっぱりそれは部会で開いて、合間に委員会開いて、委員会で皆さんにまた協議なり承認なりをしていただいたほうがスムーズに進むのではないかと、今のところ私はそういう具合に思っております。なので、奥岩委員が言われたように、もしやりながら、今、僕は何ていうか、前のときはこうやって今までやってきたんで、それでいいんじゃないかなっていう頭があって今言ってるんですけど、奥岩委員が言われることも一理ありますので、ちょっとやりながら、やっぱりこれは全体でできるでっていうようなところになったら、そういうふうに改善していけばいいんじゃないかなって今の段階ではそう思っております。

**○塚田委員長** ほかに意見はございませんか。

ないようでしたら、議会だよりにつきまして部会をつくったほうが私もいいと思います、皆様の意見を通してですね。なので、議会だよりの部会を3名ないし4名つくって、私と副議長入れてやっていく。報告会のほうは、このつくっていただいた要項をベースに進んでいって、委員会で話し合いしながら進んでいくっていう方向性でどうかと思いますけど、どうでしょうか。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 何度も言いますが、私はあまり部会にメリットを感じておりませんのでどちらもしないと思います、委員長がそれでやってほしいというのであれば、そこは了とさせていただきますので、やるのであれば御協力はさせていただきます。

あと、今日、部会のメンバーを決めるとなると錦織委員欠席されてるので、そこのお話を事前にされているのであれば御希望も聞けたかもしれないですけど、その辺りのところも確認してからのほうがいいかなとは思いますが。

**○塚田委員長** ほかにございませんか。

伊藤委員。

**○伊藤委員** 私はどちらも部会でやったほうが効率がいいかなとは思っているんですけども、今、委員長が言われました、議会だよりだけは部会でやって議会報告会は委員会でってということになったら、何かその3名を決める意味って何だろうって思ってしまう。なので、今日は作業部会ですということ、皆さんが来れる人、来たらいんじゃないですかと思いました。別に誰って。

**○塚田委員長** じゃあ、ちょっと私が検討してたのが、先ほども伊藤委員がおっしゃって

くださった、報告会が近づいてくるといろいろ詰めないといけない部分が出てくるっていう話があったんで、そのときになると部会が必要じゃないかなってふと思ったんです。それまでは特に部会までは要らないのかなと思ったりしたんですけど。もし、つくらないといけないなくなったときによってちょっと思ったので。というちょっと頭がありまして。

津田委員。

○津田委員 すみません、ちょっと確認なんですけど、議会だよりは結局作るとこってこのページだけですよ、じゃないんですか。違いますかね。

○塚田委員長 松下調整官。

○松下調整官 作るというのが、当然何十ページにかにわたって紙面を構成していくんですけども、私が説明したのは、前任期るときから特に大きな変更があったところの4点ということを説明をいたしました。ですから最低限この4点については、10月1日号に向けてどういった内容にするかっていうのを皆さんで協議していただいて、最終的に作ってもらうというイメージです、この4点については。そのほかにも改善できる場所があれば改善していくっていうのがこの継続協議の中なんですけども、ただ、10月1日号にやはり間に合うかといったら、それはなかなか厳しいところがあると思いますので、その継続協議の分は今後、昨年度、前任期で俎上に上がってますので、それはその都度またできるところからやっていくっていうような格好になるんじゃないかなと思ってます。

○塚田委員長 津田委員。

○津田委員 イメージ的に、じゃあ、私と奥岩さんと松田さんが部会になりましたと、3人。そうすると、これを誰かがパソコンでこういうレイアウトか何か全部やっていくっていう意味合いでしょうかね。

○塚田委員長 松下調整官。

○松下調整官 イメージ的にはそういう意味です。

○塚田委員長 津田委員。

○津田委員 これはじゃあ、前回これ作ったのは、この後ろに名前がある方が作業部会としてやられて、いろいろレイアウトとか全部決められて、こう出来上がったっていうことですかね。

○塚田委員長 松下調整官。

○松下調整官 委員おっしゃるとおりです。

○津田委員 そうですか。分かりました。

○塚田委員長 奥岩委員。

○奥岩委員 ちょっと今のお話を聞くと、私のパソコンスキルと、あとこういったデザインをする能力から考えると、ちょっと私は議会だよりの会のメンバーは難しいかなと思いますので。これがたまたまそれができますよっていう委員さんがおられるときの委員会だったらいいんですけど、やっぱりある程度、今回、これ73号出していただいて基のデータがあるわけですので、さっきも言ったんですけど、委員長なり事務局なり素案がつくれて、このパッケージでできますよっていう形にしておいたほうがいいのかなと思います。伊藤委員できるかもしれないですけど、ちょっと自信がないので、私は。

○塚田委員長 ちなみにですけど、前回誰かがされた。

(「吉岡さん」と森田委員)

全部、この裏とか。

(「裏は僕がやりました」と森田委員)

(「みんな配分しました」と伊藤委員)

でも、先ほど奥岩委員もおっしゃったように、メンバーが替わればできない人がいるかもしれないってことですよね。その場合は、松下調整官、どうなるんですか。その場合。

松下調整官。

○**松下調整官** どういったメンバーになるか分からないですけども、基本的には委員さんのほうで構成の話してもらってということですけども、本当になかなか難しいっていうことであれば、方法は考えないといけないのかなと思っております。

○**塚田委員長** 去年のはあるんですか、ベースは。

松下調整官。

○**松下調整官** 去年のは紙ベースでしかありません。

○**塚田委員長** 紙ベース。

○**松下調整官** それこそ作業部会で最終的に紙で検討をして、紙を出してもらって、その紙をベースに印刷会社に印刷をかけてもらったということです。データでは残ってないです。

○**塚田委員長** 伊藤委員。

○**伊藤委員** どうしてもできない場合は素材を印刷会社に渡して、こういうふうにしたいんですっていうので対応していただける場合もありますので。

○**塚田委員長** それで紙で作って、こうお願いしますみたいな感じですか。

○**伊藤委員** そんな感じ。

○**塚田委員長** そんな感じですね。

津田委員。

○**津田委員** これは前回の、ちなみにですけど、この73号は何種類かこういうデザインがあって、そこからこう…

(「2種類ありました」と伊藤委員)

(「まず写真決めんといけん」と門脇委員)

分かりました。何かすごく重たくなってきました。

○**塚田委員長** ほかに意見はございませんか。

松田委員。

○**松田委員** 確認で、結局、作業部会は設置をする方向でいくのか、まずは作業部会という形で全体のメンバーで集まってするのか、どちらの方向性でいく感じですか。

○**塚田委員長** 私の意見としては、議会だよりは作業部会をつくったほうが良いと思います。

松田委員。

○**松田委員** それは、人数は何人で。

○**塚田委員長** そうですね、伊藤委員の意見として皆さん来られる方っていうふうな感じで、やりますよと、部会をやりますよ、来れる方で話し合いをという方向性でもいいんじゃない

ないかなと思いますが、皆さんどうでしょうか。錦織委員も今日は欠席という形なんですけど、それだと話が分かるんじゃないかなとは思いますが。

門脇委員。

○**門脇委員** その方法で、全員来たら委員会と変わりませんよ。作業部会やりますって試してみんな来たら、それだったら別に委員会でいいんじゃない。まあ、決めといたほうが、部会なら部会、3人なら3人。

○**塚田委員長** 3人で。

○**塚田委員長** 奥岩委員。

○**奥岩委員** 今、門脇委員もおっしゃったんですけど、全員でやるのであれば別に部会じゃないし作業委員会でいいでしょうし、部会でやるのであれば何名か多分、さっきの津田委員のお話じゃないですけど、こういうスペシャリストの方なのか、もしくは委員長、事務局がこれをベースに素案を持ってこられて、委員会全体で出させていただいてっていう形になるのか、パターンはいろいろ考えられるんですけど。その辺も含めて多分、松田委員から、じゃあ全部ですかっていう、人数どうしますか、その辺、部会つくられますかとかっていうお話だったと思うんですけど、いかがされますでしょうか。

○**塚田委員長** 分かりました。私の意見でよろしかったらですね、部会をつくって、3名選びたいと思います。あとは私と副議長がつくということで、よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○**塚田委員長** 錦織委員は事前に聞いてはいるんですかね、どっちかというのは。

田村次長。

○**田村事務局次長** 仮に部会ができたらということで、ちょっと委員長にも確認させていただいてお聞きしましたが、どちらでもいいというようなお返事でした。

（「じゃあ、この3人（伊藤委員、松田委員、森田委員）で」と伊藤委員）

○**塚田委員長** ありがとうございます。もう決まりで。これ終わったら話をしようかと思いましたが。

じゃあ、次に3、その他ですが、皆様から何かございますか。

奥岩委員。

○**奥岩委員** そうすると、報告会の件は、報告の話もしてもいいですか。

○**塚田委員長** いいですいいです。

○**奥岩委員** 報告会の件は議長から案をいただきましたので、持ち帰って、7月28でしたっけ、までにということなんですけど、それと同時進行で、来年の4月、5月に向けて、これから決算の定例会もありますので、委員会で出てる方々はそれを踏まえてどういったのをピックアップしようかっていうのをある程度、年末までに案ができてるとスムーズかなと思いますので、どのタイミングでどの資料を用意するっていうようなスケジュール感も一緒に御用意していただけるとありがたいなと思います。

○**塚田委員長** ありがとうございます。

スケジュール感のほうは、事務局さん、つくれますか。

田村次長。

○**田村事務局次長** 要項が、議長のほうから先ほど説明もありましたが、4月または5

月を想定ということで、会派へ持ち帰りをしていただいて御意見を集約した上で、スケジュール感については事務局のほうで用意させていただきます。

**○塚田委員長** お願いします。

門脇委員。

**○門脇委員** すみません、事務局さんのほうで、もう一度締切りの分を改めて、これがいつまでいつまでっていうのをお知らせ願いたいと思います。

**○塚田委員長** 松下調整官。

**○松下調整官** すみません、じゃあ、締切りの確認をさせてください。締切りが2件ございまして、いずれも7月28日金曜日なんですけども、1点目は、議会だよりの表紙の候補写真を各委員さんが事務局宛てに、これはデータで送っていただきたいなというふうに思ってます。写真ですので紙ベースから印刷すると非常に画質が悪くなりますので、データでお願いしたいと思います。1人何作品でも結構です、出していただければ。そのときの注意は、先ほど申しましたように、肖像権の問題がありますので、必ず許可を得ていただいたものが事務局に来るといように認識しておりますので、よろしく願いいたします。

もう1点は、先ほどの要項ですけれども、これ会派持ち帰っていただいて、これも7月28日までに事務局に、御意見があれば出していただくということでお願いします。以上です。

**○塚田委員長** ほかにございませんか。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 表紙の写真の件なんですけど、個人さんが写る分であれば承諾をとということだったんですが、承諾いただく際に承諾書のようなフォーマットとといいますか、形式があるといいかなと思います。もしあればそれを使わせていただきたいですし、ないようでしたら御準備いただければなと思いますが、いかがでしょうか。

**○塚田委員長** 事務局、いかがでしょうか。

松下調整官。

**○松下調整官** 現時点ではそういったフォーマットは用意しておりませんが、必要であれば参考に送らせていただきたいと思いますが、ただ、必ず載るかどうかっていうのが難しいところですので、ちょっとそこは、もしかしたら2段階になるのか、1段階なのか、何作品か候補が出てきますので、その中で恐らく1作品、複数になる可能性もゼロとは言えませんが、そのときの相手への配慮ですとか、そういったところも必要になってくるかと思いますが、フォーマット自体は現時点ではありませんけれども、ちょっと見つけて探してみたいと思います。

**○塚田委員長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** これ、冊子だけではなくてホームページでもデータ公開されるものになりますので、そういったところで、万が一のトラブルといいますか、本人さんが思ったのと違うということがないように、そこのところは丁寧に我々も写真を撮る側として説明ができるように、すぐすぐ準備ができないということであれば、関係法令等々、近隣自治体のことも含めて事務局さんと委員長さんのほう御確認いただきまして、7月28日に間に合

わないかもしれませんが、次の次の発行分からは必ず間に合うように御準備いただければと思いますので、お願いいたします。

**○塚田委員長** 分かりました。

ほかありますか。

津田委員。

**○津田委員** そしたらその表紙の写真のことなんですけど、ここに、備考欄に、資料1の、議会活動が伝えられる動きや表情というふうにあるんですけど、この辺がこの今回の73号ではどういうことかなというのがちょっとあって、意味合いとかが何か必要なんでしょうか。この写真を載せたいという何か意味合いとか、そういう思いみたいなのを何か一筆あったほうがよろしいでしょうか。

**○塚田委員長** 松下調整官。

**○松下調整官** この資料1として御用意させていただいたのは、そのときの協議内容をそのまま載せております。どういった写真に変えていったらいいかという協議の中で、一番は議会活動が伝えられるような動き、そういったものがあるのがいいじゃないか。それとは別に、人物ですとかぱっと見てもらって手に取ってもらいやすいという、そういった面では、人物にして動きがバックグラウンドにあるような、何か伝わるような、議会活動とこれは直接関係はありませんけれども、議会活動の動きが分かるようなものがあれば、人物などで動きが隠されてるといいますか、そういったものがよいのではないかということですけども、風景写真が駄目だということではありませんので、申し添えておきます。

**○塚田委員長** 津田委員。

**○津田委員** こういう写真で、私も空手やったりまして、こういう青少年の育成とか、そういう健全としたスポーツみたいなので多分載せられたんだなというふうにちょっと感じたもんで、これが複数でも別にいいでしょうか。複数とか、例えば大人数とかというようなどころでもよろしいもんなんでしょうか。

**○塚田委員長** 松下調整官。

**○松下調整官** それは構いません。最終的に作業部会で候補を選んで、最終的には広報広聴委員会でどれにするかという流れになると思います。前回の決め方ですけども、作業部会の段階では五、六件出てきた中で、2つぐらいに絞って、最終的にA案、B案、どちらがよろしいですかということで広報広聴委員会で諮って決めたっていう経過がございます。以上です。

**○塚田委員長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 表紙データの件なんですけど、これ、ある程度、今後またこういったのがいってというような内容を集めていただければと思うんですけど、取り急ぎ7月28日までに当たって、画素数が幾ら以上とか、データサイズが幾らまでとか幾ら以上がいいとかっていうのはありますか。特になければきれいそうなものを御準備させていただけたらなと思います。

**○塚田委員長** 松下調整官。

**○松下調整官** データの画素数とか画角データサイズとか、そういったものは指定しておりませんので。荒くないようにということで御理解いただければと思います。

○塚田委員長 ほかにありませんか。

なければ、以上で広報広聴委員会を閉会いたします。

**午後 2 時 1 6 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 2 9 条第 1 項の規定により署名する。

広報広聴委員長 塚 田 佳 充